

がんばる！地域！

vol. 28 馬場

馬場区は自然や歴史的資産が多く残る地域です。豊かな財産を次世代へ引き継ぎ、安全で安心な「住み続けたい」と思える地域を目指し、「自然と歴史が人をつなぐ区」づくりを進めています。

ふれあいとつながりのある地域づくり

公民館を拠点にサロン活動などを行い、高齢者が集う場所づくりを進めています。他行政区の子ども会と連携した合同イベントなども実施することで、子どもの減少に対応しています。



①～③サロン事業、④グランドゴルフ、⑤きらめき学習

安心・安全に生活できる地域づくり

区民が安心・安全に生活できる地域を目指し、自主防災組織による防災訓練で、区民の防災意識を高めています。

また、交通量が多い県道付近の危険個所の改善に取り組んでいます。



豊かな自然と生活の共生による地域づくり

豊かな自然に囲まれた生活環境は、地域の宝です。運営委員会や子ども会などが環境美化活動を行い、区内の環境保全に努めています。

地域資源を活用した活力ある地域づくり

区内には歴史的価値が高い、七社宮や馬場古墳群があります。これらの文化資産を次世代へ継承するため、老人会などが支援活動を行っています。

そのほか、活動拠点である公民館の深刻な老朽化に対応するため、建設委員会で新築に向けた計画を進めています。

コミュニティの希薄化が課題となっている現在、広川町では、地域のつながりをさらに深めるために「地域コミュニティ推進事業」を進めています。

各行政区では、区民が主役の特徴ある活動が行われています。このコーナーでは、各行政区の取り組みを紹介していきます。第28回は「馬場区」です。



SDGs(持続可能な開発目標)とは、国連で日本を含む全世界が同意した2030年までに達成すべき目標です。

ひろかわSDGsプロジェクト

SDGs: 目標8 「働きがいも経済成長も」

達成のために広川で頑張っている団体 → 「姫野病院」

ジェンダー平等の観点からも、今では女性が働くことが普通になりました。

共働き家庭が増えて浮上してきた課題の一つが、待機児童問題です。「仕事をしたくても、子どもの世話があるのでできない」のは、少子高齢化が進み、働き手が不足している雇用主側にも大きな損失です。

身近では「姫野病院」が企業主導型保育事業に着手し、敷地内に保育園を設置しています。

従業員の子どもはもちろん、院外の子どもも受け入れている姫野病院は、地域全体の子育て世代にとって働きやすい環境づくりに一役買っています。



「ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)」の実現が求められていますが、日本にはそれを実現するための障壁が多く残っています。長時間の労働時間、最低賃金の地域格差、育児や介護に対応できない休暇制度…、数え上げれば切りがありません。

経営者や管理者の考え方を变えることも必要ですが、それを支えているのは私たち一人ひとりの考え方です。

ディーセント・ワークを実現するため、まずは所属する組織の労働環境を見直して見ませんか？



国際理解教育推進員 糺広大

より深く知るために、次のようなキーワードで検索してみましょう。

ディーセント・ワーク 働き方改革

広川文芸

ひろかわ俳句会

肺炎の痛みに耐えて月を見る
 開け放つ窓に由布岳宿の月
 こぞり立つ茎鮮やかに彼岸花
 一筋の秋風となり兄逝けり
 頬なでる風を感じる今朝の秋
 空青く月のしずくや星一つ
 思ひつつ眺むる月は母の顔
 日暮るや杉木立より月出づる
 窯出しの青き器や夕月夜
 ナナフシを枝と見まがふ月明り
 満月と遊んでゆけと露天風呂
 残暑まだ病ひもまだか夜半の咳
 湯の里は濃紫色後の月

櫻の会

届けたる人は誰とも知らぬまはちきれさうな葡萄ほおぼる
 一人来し都会は広くお馴染の珈琲ショップでマロンワッフル
 久々に吾娘と並べて敷く布団まるめる背にそつと毛布を
 秋の風なぞか淋しと思へども食欲だけは「ロマン」忘れて
 なきながらを土に帰してあげませうテラスに果てし秋津の戦士
 わが庭の一面染むる彼岸花地上の秋を誰が教へしか
 新米をバクリバクリと食む孫は健康すぎて母をこまらす
 涼風に吹かれてひとり畔道を今朝の天気我感到をしつつ
 お母さんいま何の夢を見てゐるのしほみし口もとはつかに笑まふ

池田 和代	濱武美智子	細川 徳子	山崎美代子	中倉 明美	野中 勝美	一瀬砂智子	中嶋 玉子	青木佳代子
御厨とみ子	柴田 眞理	水本 辰次	水本 艶子	野中 勝美	結束 節子	青木佳代子	酒井 司	原口あつ美
一瀬砂智子	松延 朝美	美座 時朗	山崎 陽子					